



【第23号】

令和元年11月13日

福島県小名浜港湾建設事務所

# おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所  
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

## あの船が運んでいる「もの」は何だろう？

小名浜港内にて、10月29日（火）～30日（水）、1隻の船が大きな箱のようなモノを押して運んでいました。アクアマリンパークの目の前を通ったので、目撃し疑問に思った方も多いと思います。今回はこの船が運んでいたものについて、詳しく説明していきます。

10月30日（水）の様子



何を運んでいるんだろう？



いつき君

運ばれていたケーソン



ケーソンの上面

高さ10m、幅22m、奥行き11.6m

運ばれていたのは、「ケーソン」と呼ばれるコンクリートで作られた箱です！

港では、防波堤や岸壁を作る際に使われています。今回運ばれていたケーソンは、小名浜港の藤原ふ頭に係留されている「フローティングドック（FD）」という船の上で、6月～10月までの約4ヶ月間に、2函同時に製作したものです。

移動したのは、西防波堤（第一）の付近に仮置きし、今後、三崎防波堤を延伸するのに使用するためです。

フローティングドック



ケーソン

ケーソンの中は空洞になっているため、水に浮かせ、船で押し運ぶことができます。

延伸箇所に設置した際には、中に銅ガラミやコンクリート等を詰めて蓋をし、重さで動かないようにします。

今回の工事では、最終的に合計5函のケーソンが作られます。

作成されたケーソンを使用し、防波堤を110m延伸することで、港内の波が穏やかになります。

更にその後、三崎航路を広くすることで、漁船等の船舶が安全に航路を通れるようになります。

小名浜港全景



- 凡例
- FD位置
  - 延伸箇所
  - 仮置き場所
  - ケーソン運搬動線
  - 三崎航路

令和元年9月撮影

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなどの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからご覧いただけます QRコードはこちらです





## 小名浜港港内見学にたくさんの小学校が訪れています。

9月～10月にかけて、いわき市内5校の小学5年生計240名が小名浜港の港内見学に訪れました。

【9月～10月の実施校】

- ・ 9月19日 いわき市立好間第一小学校 52名
  - ・ 9月20日 いわき市立菊田小学校 78名
  - ・ 9月27日 いわき市立湯本第二小学校 33名
  - ・ 10月18日 いわき市立高野小学校 11名
  - ・ 10月29日 いわき市立平第一小学校 66名
- 今年度はこれまでに、計8校の見学を行っています。

3号ふ頭先端での様子



当所では、職員がバスに同乗し、港の役割や各ふ頭での取り扱い貨物について説明しながら、小名浜マリブリッジ及び3号ふ頭から大剣ふ頭まで巡る港内見学を実施しています。随時受付を行っておりますので、詳しくは当事務所のHPもしくは企画調査課までご連絡下さい。

\*港内見学は小・中学生、高校生を対象に実施しています。

## 小名浜マリブリッジの一般開放が終了します。

平成31年4月から実施してきた小名浜マリブリッジの一般開放ですが、今年度は、11月24日(日)をもって終了となります。

これまでの来場者は、平成29年8月からの累計で39,901名です(令和元年11月11日現在)。

皆さん、是非一般開放終了前に小名浜マリブリッジを渡ってみてはいかがでしょうか!?

また、一般開放の他にも、小名浜マリブリッジのライトアップを継続しています。アクアマリンパークなどから見るができますので、ぜひ足をお運びください。

マリブリッジ一般開放(飛鳥II寄港時)



マリブリッジライトアップの様子



今後、小名浜マリブリッジの一般開放を再開する際は、当所HPやInstagramにて告知します。

### 編集後記

みなさん、お久しぶりです。小名浜港湾建設事務所のいつきです。今回のみなと通信は、フローティングドッグで制作されたケーソンについての特集でした!これからも三崎防波堤の延伸工事について、工事の進度に合わせて定期的に掲載していきます。

また、それ以外にも、いわき市の港での出来事やイベント情報などは、当広報誌や事務所HPに掲載します。皆さん是非チェックしてくださいね!

いつき君

